

登録有形文化財「藤岡家住宅」

新年の展示

令和三年一月七日（木）より

「うなみのとも」に見る

# 玩具の牛

〒637・0016 奈良県五條市近内町526

0747(22)4013

info@uchinono-yakata.com

<http://www.uchinono-yakata.com>

月曜日休館。月曜が祝日のときは閉館して翌日休館。

午前9時から午後4時

（維持管理ご協力金）高校生以上三百円・小・中学生二百円



# 郷土玩具画集「うなゐの友」に見る牛

## 藤岡家所蔵の牛の郷土玩具



郷土玩具研究家・清水晴風『うなゐの友』は、明治～大正時代の郷土玩具の画集です。うなゐとは、子供の髪型や童子を意味し、「子供の友であるおもちゃ」という意味です。晴風の没後は、西澤笛畝（にしぎわてきほ）が発行を受け継ぎました。丑年のお正月にちなみ、同著に描かれている「牛」と、藤岡家所蔵の「牛」を表す郷土玩具を展示致します。『うなゐの友』（全7編）の内5編は、令和元年「おもちゃ」展で展示しましたが、その後調査が進み、新しく2編が厨子部分から発見されました。本年の干支「牛」にちなみ『うなゐの友』7編と、藤岡家所蔵の牛の玩具を展示します。



「大坂天王寺村牛の干支」。願を掛け成就したとき、この牛を奉るといふ『うなゐの友』第4編

右)「信濃善光寺土産牛練物製原寸大」『うなゐの友』第7編

上)「西京産玉製車牛」現在もこの体の玩具あり。  
 中)毎年寒中丑の日に土製のこの丑を奉る。現今も昔日の如し。  
 下) 勢州津の産。土製の牛。  
 『うなゐの友』第3編



「奥州三春のうし」『うなゐの友』第6編

信濃善光寺土産牛練物製・練物彩色にして腹部に紙に印刷せる老婆の姿を張り白布を糊粉にて描出して所謂牛に引かれて善光寺参りの古諺をあらはせる趣考大ひに見る可き物あり最近作り出せるものながらよく古趣を帯たり（西澤笛畝）

『うなゐの友』初編 明治24年10月印刷発行／『うなゐの友』第2編・第3編・第4編 明治44年5月15日印刷発行／『うなゐの友』第5編・第6編 大正2年6月10日印刷発行（○著作者 東京市神田区旅籠町1丁目7番地 清水晴風○発行無印○印刷者京都市上京区寺町通押小路北入 25 番戸○書肆芸州堂○山田直三郎）／『うなゐの友』第7編 大正6年5月1日印刷 5月5日発行（○編集者 西澤笛畝○発行者 印刷者 京都市上京区寺町通二条入 山田直三郎○発行所 京都市寺町二条通 合資会社芸州堂）



上)「紀州牛神の納丑」  
 下)「和泉国牛滝山の牛」  
 『うなゐの友』第6編



左)「八丈島沖の郷にて造る木牛」『うなゐの友』第6編

藤岡家所蔵郷土玩具の牛



「福牛」



「張り子の牛」



「瓦牛」

〒637-0016 奈良県五條近内町 526 番地 ☎と FAX 0747(22)4013

登録有形文化財「藤岡家住宅」管理法人・NPO 法人うちのの館

[info@uchinono-yakata.com](mailto:info@uchinono-yakata.com) <http://www.uchinono-yakata.com>

月曜休館・月曜祝日のときは開館して翌日休館。9時～16時。高校生以上 300円・小・中学生 200円